

2025年11月17日
株式会社四電工
株式会社富士通四国インフォテック

フル3次元建築設備CAD「CADEWA Smart V7」 2026年1月19日より販売開始

～BIMデータ活用の拡充によるBIMワークフローの強化と
作画効率の向上に寄与する機能アップ～

株式会社四電工と株式会社富士通四国インフォテックは、建築設備CAD「CADEWA(キャデワ)」シリーズの新バージョンとして、フル3次元建築設備CAD「CADEWA Smart(スマート)V7」(以下、CADEWA Smart V7)を、2026年1月19日より販売開始いたします。両社は、本サービスの提供を通じて建築設備業界の課題解決を支援します。

「CADEWA Smart V7」は、BIM(注1)データ活用の強化として、メーカー部材およびデータ連携の拡充を行いました。ネグロス電気株式会社(以下、ネグロス電気)のケーブルラック部材を搭載し、適合耐震架台の選定や重量集計・メーカー型番での数量集計が可能となり、施工品質の向上・時短に貢献します。さらに株式会社アルモニコスの大規模点群モデル化システム「ClassNK-PEERLESS」とのIFCデータ連携により、3Dレーザースキャナで取得された点群データが利用でき、改修工事でのデータ活用が可能となります。また、コメント機能を搭載し、IFCデータとBCFファイルを紐づけることで異なるBIMツールを利用しているチーム間でも問題箇所など効率的な共有が可能となり、円滑な意思疎通が図れます。

作画機能においても、耐震吊材の一括作画やケーブルラックのサイズ計算、スリーブ作画における支援機能として梁貫通可能領域を一括作画するなどお客様の作画効率を向上させる機能を搭載し、生産性向上・時短に貢献します。

【背景】

CADEWAシリーズは、1987年に国内で提供を開始し、建築設備業を中心に多くのお客様にご利用いただいているロングセラー製品です。建設業界では、時間外労働の上限規制や慢性的な人員不足が深刻な課題となっており、生産性向上と時間短縮への取組みが急務となっております。株式会社四電工と株式会社富士通四国インフォテックは、これらの課題解決に貢献するため、BIMデータ活用の強化・作画のさらなる効率化の拡充を行った「CADEWA Smart V7」の提供を開始します。

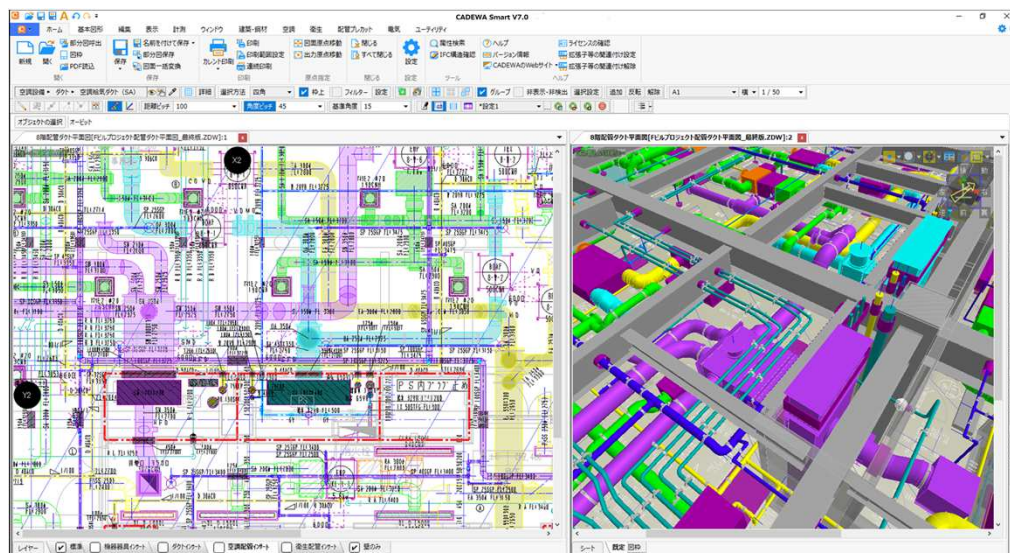


図1: CADEWA Smart V7 画面イメージ

【特長】

1. BIMデータ活用強化

①部材の強化

BIMソフトとのデータ連携においては部材が持つ情報は重要です。CADEWA Smartには標準で約3万3千点の部材を登録しており、継続してメーカー部材の搭載を進めています。

「CADEWA Smart V7」ではケーブルラックで国内トップクラスのシェアを誇るネグロス電工のケーブルラック部材を146点(サイズ別では1690点)標準搭載します。メーカー情報を使った耐震架台の選定や材料集計機能によりスムーズな部材発注が可能となります。

なお、ネグロス電工のケーブルラックを作画する際、材質とラック幅を指定すれば適切なメーカー型番が選定される機能も搭載、より正確な情報で作画を進めることができます。また、オートデスク株式会社の3次元CADソフト「Autodesk®Revit®」(以下Revit)に中間データを介さず直接出力したrvtファイルを連携した際には「Revit」上の属性でメーカー情報を確認することが可能です。

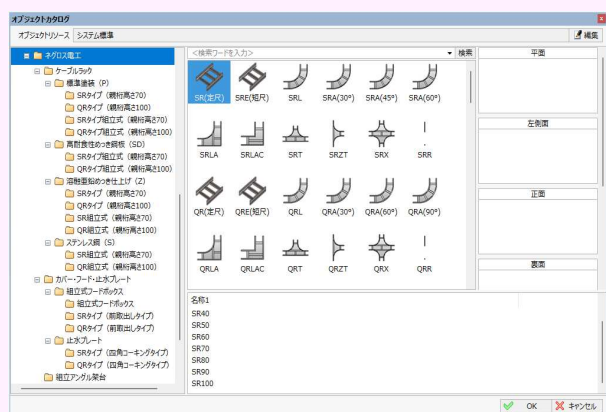


図2:オブジェクトカタログの中にあるネグロス電工部材

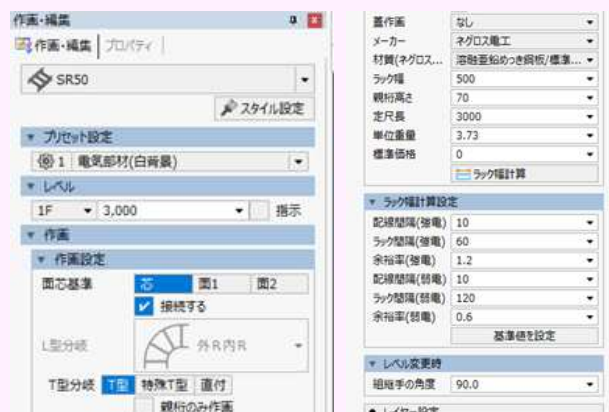


図3:ケーブルラック作画機能の作画編集パネル

②データ連携の拡充(点群データ)

CADEWA Smartは他社ソフトウェアとの連携、データ互換の拡充も行っております。

「CADEWA Smart V7」では改修工事などで活用される点群データを取り込んで図面を作成するニーズが増えてきたことを受け、アルモニコスの大規模点群モデル化システム「ClassNK-PEERLESS」から出力されたIFCデータを読み込み、CADEWAの部材に変換することを可能とします。取り込んだ点群データがCADEWAの部材に変換されるため、CADEWAの機能を用いて図面を作画・編集できます。

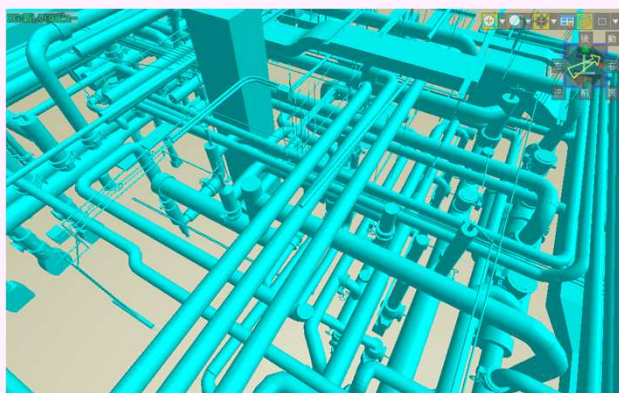


図4:CADEWAで読み込んだIFC変換された点群データ

【特長】

③コメントの連携機能

BIMでは図面を取り扱う関係者間でモデルを基にした意思疎通が必要です。「CADEWA Smart V7」ではBCFファイルの連携を実装し、コメント、キャプチャ画像、視点の受け渡しが可能となります。3Dビューで画像をキャプチャし、その画像に紐づくコメント・日時・作成者・ステータス等の情報が入力でき、問題箇所・指摘事項等のコミュニケーションに寄与します。CADEWA同士での受け渡しはもちろん、BCFに対応している他社のソフトにも連携可能です。さらに、3Dビュー上での文字列による注釈や寸法も記載できます。これらは3Dの視点を変えた際も自動で見やすい位置に表示され、視覚的に分かりやすい情報伝達をサポートします。

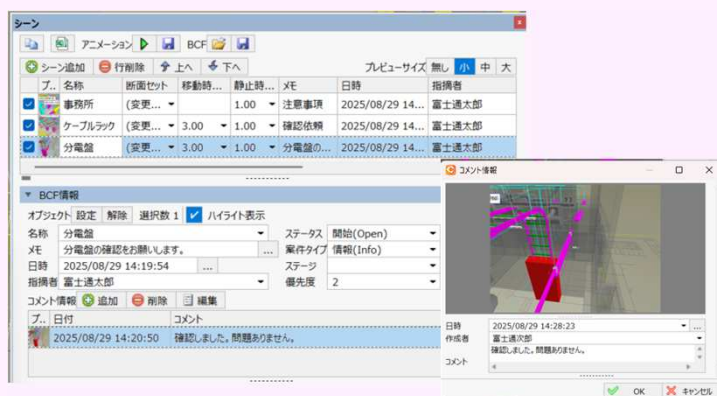


图5:BCF画面

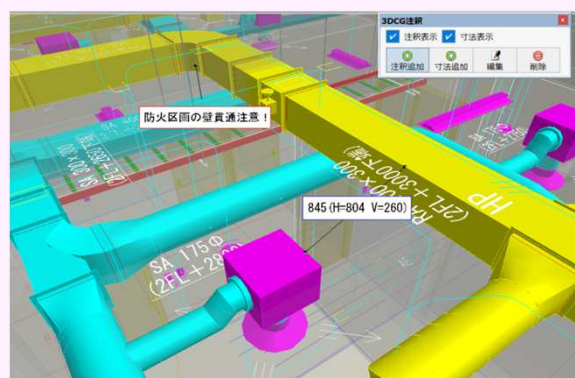


図6:3D注釈

【BIM関連 その他の強化ポイント】

・Revit2026対応

Revit2020～Revit2026の入出力に対応します。

- ・RevitおよびIFC入力時のフロア対応

Revit・IFCファイルをCADEWAで開く際に各ファイルで設定されているフロア毎にシート分けして取り込むことが可能となります。シート分けされたビューの表示切替が簡単に行えます。

- ・タブレット上のSPIDER+にて2D図面に加え3Dモデルを連携

スパイダープラス株式会社の建設DXサービス「SPIDER+」と連携、CADEWA Smartから出力した3Dモデルを同社BIM機能「S+BIM（エスビム）」（注2）上で閲覧できます。

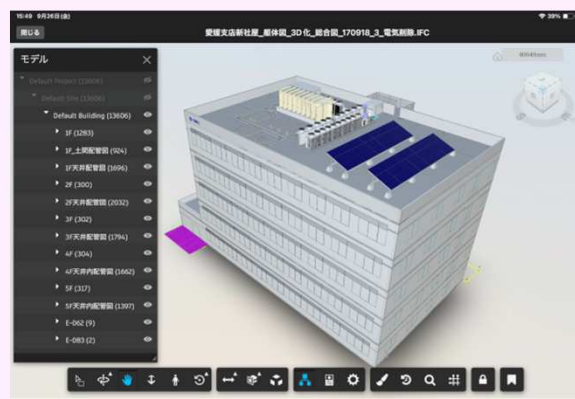


図7: SPIDERPLUS S+BIM 画面イメージ

・eco労師との連携

一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会
建築設備技術計算ソフト「eco労師」の「電路計算書」「照度計算書」
との連携に対応します。

・盤リストの標準化対応

BIMソフトウェアとの連携を前提とした、
一般社団法人日本電設工業協会作成の標準書式による
分電盤リスト・動力制御盤リストとの連携に対応します。

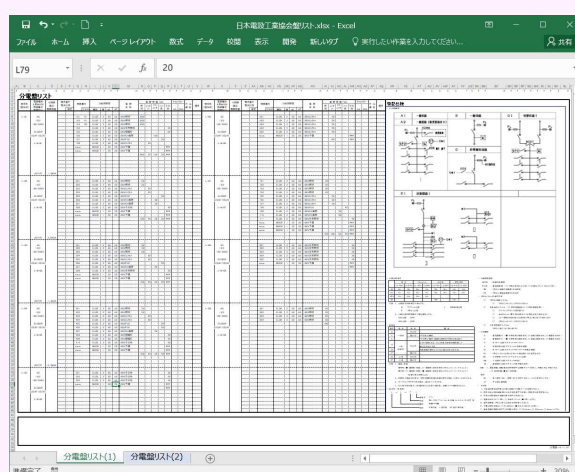


図8:分電盤リストへの出力

【特長】

2. 作画効率化

お客様の作画作業効率化に貢献するため、「CADEWA Smart V7」では以下の機能を追加搭載します。

① 吊材作画の強化

- 電気ルートの単独吊を共吊に変更する機能を搭載します。

標準搭載されている共同カイテック株式会社のバスダクト部材にも対応します。

バスダクトが並走する電気室等の図面を効率よく作画できます。

- ネグロス電工の組立アングル架台選定機能を搭載します。

ネグロス電工の基準(用途、設計水平震度)に沿って支持材を選択)に沿って振止を作画できます。

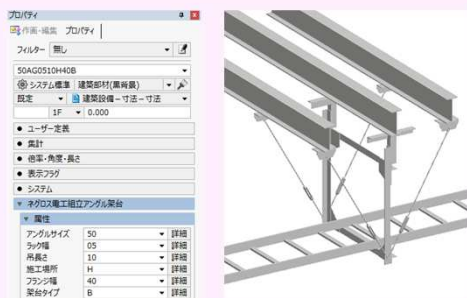


図9: ネグロス電工組立アングル架台

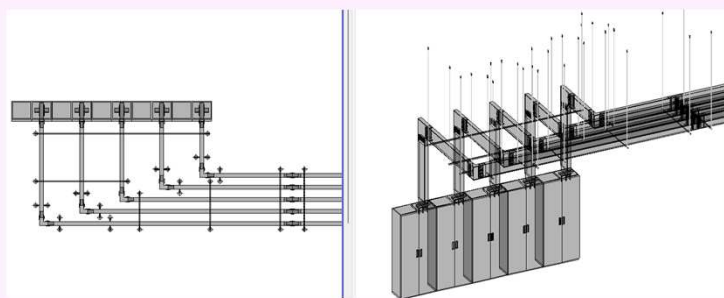


図10: バスダクト共吊り

② ケーブルラックの幅計算機能

配線から適切なケーブルラックの幅を計算し、計算結果の幅でケーブルラックを作画できる機能を追加します。

選定に要する手間を省力化し、選定ミスによる手戻りも防止します。

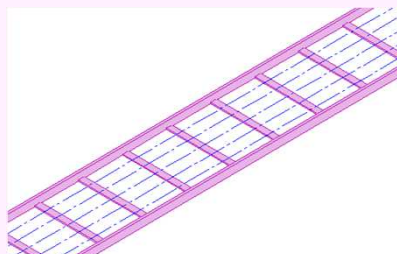


図11: ケーブルラックの幅計算イメージ

③ 梁貫通可能領域の可視化

梁貫通可能領域の可視化機能を搭載します。ルート作画時に梁の貫通可能領域を確認しながら作画できます。

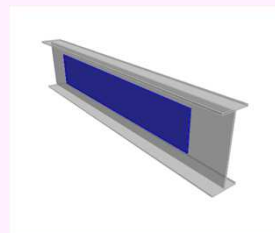
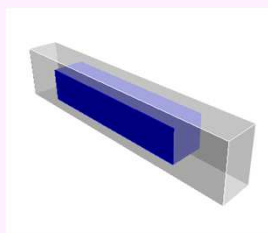
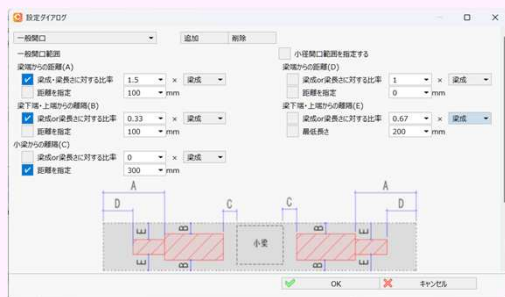


図12: 梁貫通可能領域の可視化機能画面と作画イメージ

【特長】

④立管指示の右クリックメニューからの簡単作画(床上掃除口に加え、排水金物・ドルゴ通気弁)

排水水通気立管指示の右クリックメニューからこれまでの床上掃除口の作画に加え、排水金物や屋内処理形通気弁(ドルゴ通気弁)も作画できるよう対応します。

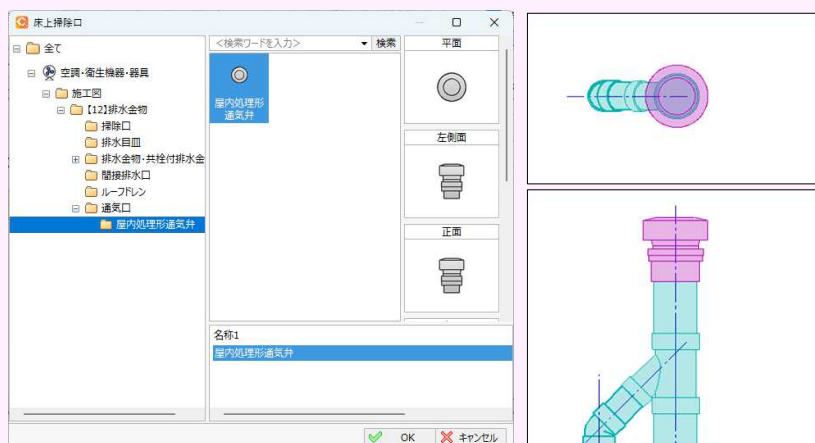


図13: 立管指示の右クリックメニューからのドルゴ通気弁の作画イメージ

⑤コンテキストメニューの整理

コンテキストメニューに、よく使用する「オブジェクトカタログ」と「選択削除」を追加します。

また、関連コマンドにおいては、「配管継手・バルブ類」「ダクト継手・ダンパ類」といったグループを設け、その配下にエルボやチーズ、バルブやダンパなど表示することで、目的のコマンドがより見つけやすくなります。

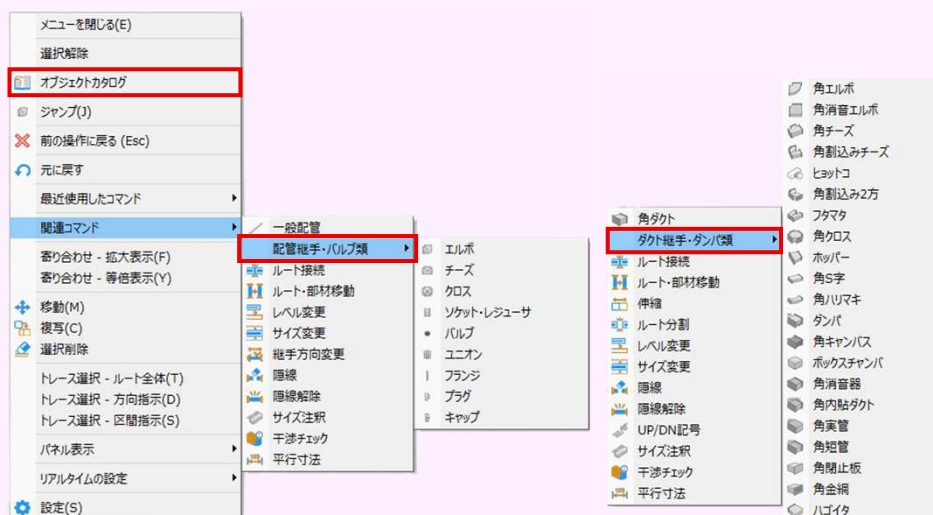


図14: コンテキストメニューのイメージ

【その他の機能強化項目】

- ・冷媒管作画の強化 : Excelの冷媒サイズ表を元に冷媒管を作画する機能を追加。
- ・サイズなし単線ルート : 単線ルートにおいては、サイズなしの配管・ダクト・冷媒管などが作画できるよう機能改善。
- ・2点指示による勾配付与 : 指示した2点のレベルから勾配を付与できるよう対応。
- ・参照図へのスリーブ作画 : 参照図の梁・壁・床に対してのスリーブ作画に対応。
- ・シートのグループ化 : 複数のシートをグループ化する機能を追加。
- ・フェーズ管理機能 : フェーズ管理機能を追加。フェーズ毎に部材を登録し、色分け表示することが可能。工事種別毎の色分け表示にも対応。
- ・ダクト製作オプションの機能強化 : 製作属性の横補強設定を国土交通省仕様(令和7年版)に対応。
曲管リストの文字サイズ選択、工法出力位置の変更、フランジ寸法出力を追加。角ダクト部材に加え、丸ダクト部材の曲管リスト出力にも対応。(リリース後のアップデートで対応予定)

【販売価格、販売開始日】

製品名	バージョン	概要	販売価格	販売開始時期
CADEWA Smart	V7	電気・空調・衛生 スタンダード版	オープン 価格	2026年 1月19日
CADEWA Smart LT	V7	平面作画に特化した廉価版		
CADEWA Smart ダクト製作オプション	V7	ダクト製作に特化したオプション商品		
CADEWA Smart 保守サービス	—	CADEWA Smart 本体 の保守サービス 操作QA、加入期間中にリリースされる バージョンアップの提供	¥60,000	販売中
CADEWA Smart ダクト製作オプション 保守サービス	—	CADEWA Smart ダクト製作オプション の保守サービス	¥20,000	販売中

【注意】

本機能アップ内容は、予告なしに変更する場合があります。

【商標について】

「CADEWA」は、株式会社四電工の登録商標です。
「Autodesk® Revit®」は、オートデスク株式会社の登録商標です。
「SPIDERPLUS」「S+BIM」は、スパイダープラス株式会社の登録商標です。
「eco労師」は、一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会の商品です。
その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【注釈】

- (※1) BIM (Building Information Modeling)
コンピュータ上に作成した3次元の形状情報に加え、部屋等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築すること
- (注2) 「S+BIM」は別途契約が必要となります。詳細は下記スパイダープラス株式会社へお問い合わせください。
<https://spider-plus.com/functions/s-bim/>

【お問い合わせ先】

- プレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社四電工 技術本部 CAD開発部

【松山】電話:089-925-1107

【東京】電話:03-3434-3883

URL:<http://www.cadewa.com/>

E-mail:cadewa@yondenko.co.jp
- CADEWAご購入に関するお問い合わせ

株式会社富士通四国インフォテック

デジタルソリューション統括部 CADソリューション部

【東京】電話:050-3616-8353 (直通)

【松山】電話:089-945-6228 (直通)

E-mail:contact-cadewa@cs.jp.fujitsu.com